

鳥取大学動物実験計画申請書

鳥取大学長殿

受付番号

h25-T008

新規 変更 相談窓口

提出年月日 2013-04-19

受付年月日 2013-03-27

13-T-8

研究課題	獣医学科 4年生外科学実習
------	---------------

研究目的と その意義 実験を行う科学的な背景や実験を行うことにより予想される利益を含めてわかりやすく記載すること	前回承認番号:12-T-3 変更点 ・受講者の変更のみ 外科実習において注射・採血法、麻酔および気管挿管の実習を行う。これらは獣医臨床の現場においてもっとも基本的な手技であり、これらの技術の教育は臨床獣医学教育において必要不可欠である。また、習得の際に実際の動物を用いての実習を行う以外の方法はない。
--	---

動物実験責任者名 (選択項目を■) (括弧内にフリガナ、選択項目を■ 連絡先は内線番号を記入) * 学生の場合は部局欄に学籍番号を、職名に学年を、連絡先は指導教員の内線番号を記入	フリガナ オカモト ヨシハル 氏名 岡本 芳晴 Email [REDACTED]	部局名・連絡先(内線) 部局名:農学部共同獣医学科獣医外科学研究室 連絡先TEL: [REDACTED]	職名 教授	教育訓練受講 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見込
	氏名 岡本 芳晴 (オカモト ヨシハル) Email [REDACTED]	部局名:農学部共同獣医学科獣医外科学研究室 連絡先TEL: [REDACTED]	教授	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見込
	氏名 今川智敬 (イマガワトモヒロ) Email [REDACTED]	部局名:農学部共同獣医学科獣医画像診断学 連絡先TEL: [REDACTED]	教授	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見込
	氏名 梶 武志 (ツカタケシ) Email [REDACTED]	部局名:農学部共同獣医学科獣医画像診断学 連絡先TEL: [REDACTED]	准教授	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見込
	氏名 大崎智弘 (オオサキトモヒロ) Email [REDACTED]	部局名:農学部共同獣医学科獣医外科学 連絡先TEL: [REDACTED]	准教授	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見込
	氏名 Email	部局名: 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見込

実験実施期間	承認後～2015-03-31					中止・終了等	
飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設				実験室		
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	イヌ	ビーグル	メス	6	コンベンショナル	現在飼育中	
	イヌ	ビーグル	メス	4	コンベンショナル	現在飼育中	

研究計画と方法	<input type="checkbox"/> 材料の採取 <input checked="" type="checkbox"/> 薬剤等の投与 <input type="checkbox"/> 外科的処置 <input type="checkbox"/> 系統維持 <input type="checkbox"/> 行動観察 <input type="checkbox"/> その他
	実験方法（動物に加える処置、「想定される苦痛のカテゴリ」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。） 外科実習にて、イヌの採血、注射および血管確保の実習を行う。また、後日イヌの血管確保を行ったうえでプロポフォール4 mg/kg、ミダゾラム0.1 mg/kgを静脈内投与し、気管挿管の実習を行う。なお気管の実習中に獣医師資格を持つ教員およびティーチングアシスタントが危険と判断した場合には、学生実習を一時中止し教員等による気管挿管ならびに酸素吸入などの適切な処置を行う。全身麻酔後、脊髄造影を行い、レントゲンおよびCT撮影を行う。
	実験全体で使用する動物の算出根拠： ビーグル犬は1グループに1頭あてがう。グループ数は6～8ほどを予定しており、予備として数頭を予定している。なお、実習前に健康状態に問題があると思われる犬は実習に供することができないので予備の犬も必要であると考える。合計 イヌ 10匹使用

特殊実験区分 (該当項目をすべて ■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 実施上の注意点・廃棄方法 (BSL2あるいはBSL3を選択した場合に記載)		
	<input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A 遺伝子組換え実験計画書承認: <input type="checkbox"/> 承認済み <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 申請予定		
	<input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験		
	<input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験・その他有害物質 使用する際の注意点・廃棄する方法を記載:		
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input checked="" type="checkbox"/> 教育・訓練 <input type="checkbox"/> その他	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 検討したが代替手段の精度が不十分だった。 <input type="checkbox"/> 3. その他
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■) D及びEの実験を行う場合には、科学的根拠を記載する	<input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほどんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。		
動物の苦痛の軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて ■)	<input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 <input type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入 <input type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 5. その他		
安楽死の方法 (該当項目をすべて ■)	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 <input type="checkbox"/> 4. その他		
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 大学内で焼却 <input type="checkbox"/> 2. 外部業者に委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3. その他 (具体的に記入: 繼続飼育)		
その他特記事項	本動物実験は外科実習で使用するため、実習終了後は継続飼育し、他の実験使用する予定である。動物の年齢が10歳を超えた場合、安楽死処置または里親を捜す予定である。		
添付資料	添付なし		

2013年4月26日

鳥取大学動物実験計画書承認書（通知）

受付番号：h25-T-008

課題名：獣医学科 4年生外科学実習

実験責任者：岡本 芳晴

実験実施期間：2013年4月26日（承認日）～2015年3月31日

条件等： 特になし

本実験計画は、鳥取大学における動物実験規則等に適合とし承認する。

承認番号：13-T-8

承認日：2013年4月26日

鳥取大学長（公印省略）

平成 26 年 5 月 30 日

鳥取大学長殿

動物実験計画（■ 変更・□ 追加）承認申請書

動物実験責任者名	
所属：	農学部共同獣医学科基礎 獣医学講座獣医外科学教 育研究分野
職名：	教授
氏名：	岡本芳晴

承認番号 13-T-8 の動物実験計画を下記のとおり、■ 変更・□ 追加したいので承認願います。

記

1. 変更・追加事項*

(* 実験内容および責任者の変更是、「計画書」を新たに提出すること。
また、遺伝子組換え動物の追加は遺伝子組換え実験安全委員会の承認を得ること)

1) 動物実験実施者の変更・追加

動物実験者の変更をお願いします。このファイルのSheet2に名簿を付しております。

2) 実験動物種及び使用数等の変更・追加

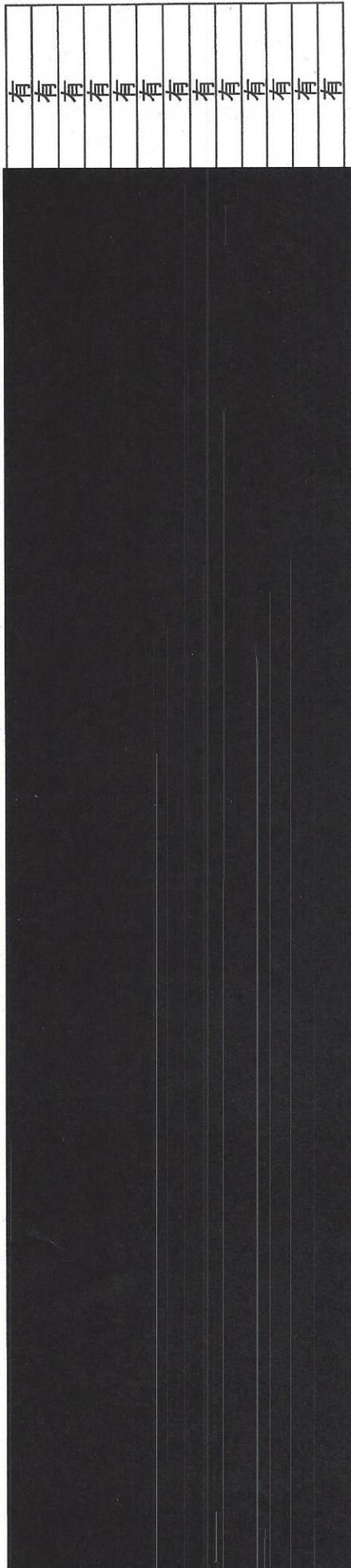
3) 実験実施期間の変更

4) その他

2. 変更・追加等の理由

受講者の変更による。

氏名	職名あるいは 学科・学年	e-mail	部局名あるいは学籍番号	連絡先(内線)	教育訓練受講
柳原ヨシオ	保坂 善真 教授	[REDACTED]	農学部共同獣医学科基礎獣医学講座獣医解剖学教育研究分野 [REDACTED]	[REDACTED]	有



鳥取大学動物実験報告書

平成 26 年 4 月 18 日提出

報告の内容	■ 年次報告		□ 終了報告	
	[氏名]	岡本芳晴	[職名]	教授
動物実験責任者	[内線]		[e-mail]	
	[所属]	農学部 共同獣医学科 獣医神経病・腫瘍学教育研究分野（附属動物医療センター）		
研究課題	獣医学科 4年生外科学実習		承認番号	13-T-8
動物実験実施予定期間	平成 25 年 4 月 26 日 ~ 27 年 3 月 31 日			
飼養保管施設及び実験室	飼養保管施設		実験室	

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先 (導入機関名)
	イヌ	ビーグル	メス	10	コンベンショナル	現在飼育中

想定される苦痛 のカテゴリー	<input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験
	<input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験
	<input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験
	<input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えると思われる実験
	(科学的根拠:)

動物実験実施状況の検証						
動物の使用実数	動物種	系統	性別	計画匹数*	今年度使用匹数**	延べ使用匹数***
	イヌ	ビーグル	メス	10	10	

3R	動物の選択	・使用した動物種は適正であり、かつ適正に用いたか。				
		<input checked="" type="checkbox"/> 適	<input type="checkbox"/> 不適→	計画に則して用いた。		
	動物数の削減	・使用動物数(実験使用数及び繁殖数)の削減に努めたか。				
<input checked="" type="checkbox"/> 適		<input type="checkbox"/> 不適→	計画に則して実験を行った。全体の使用数は計画総数を超えていない。			
動物の苦痛 軽減安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 適	<input type="checkbox"/> 不適→				
施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 適	<input type="checkbox"/> 不適→				

教育訓練	・動物実験責任者、実施者及び飼養者は動物訓練を受けたか。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 適	<input type="checkbox"/> 不適→		
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。			
	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり→		
終了報告の場合は、以下の欄も記入して下さい。				
実験終了の年月日	年　月　日			
実験終了時の状況	期間: <input type="checkbox"/> 計画した実施期間満了 <input checked="" type="checkbox"/> 計画した実施期間の途中 (「計画した実施期間の途中」の理由)			
計画終了時の 動物の有無	動物の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	(有の理由)			
	実験成果:			
	学会発表:			
実験成果の概要				
	論文発表:			
	著書:			
	その他:			
その他 (実験実施において 気付いた事項)				
※動物実験委員会 の意見等	計画に基づき適正に実験が行われていると判断できます。			
	審査日	平成26年 5月 23日	審査番号	13-T-8
※委員長欄	本動物実験報告を審査しました。			
	委員長名 田中 久隆			

注) 必要に応じて記入欄を上下に拡大・縮小してください。別紙を添付も可能です。

鳥取大学動物実験報告書

平成 27 年 4 月 3 日提出

報告の内容		□ 年次報告		■ 終了報告		
動物実験責任者	[氏名]	岡本芳晴		[職名]	教授	
	[内線]			[e-mail]		
	[所属]	農学部 共同獣医学科 獣医神経病・腫瘍学教育研究分野（附属動物医療センター）				
研究課題	獣医学科 4年生外科学実習			承認番号	13-T-8	
動物実験実施予定期間	平成 25 年 4 月 26 日 ~ 27 年 3 月 31 日					
飼養保管施設及び実験室	飼養保管施設			実験室		
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	
	イヌ	ビーグル	メス	10	コンベンショナル	
					現在飼育中	
想定される苦痛のカテゴリー	<input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験					
	<input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験					
	<input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験					
	<input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えると思われる実験					
	(科学的根拠:)					
		動物実験実施状況の検証				
動物の使用実数	動物種	系統	性別	計画匹数*	今年度使用匹数**	延べ使用匹数***
	イヌ	ビーグル	メス	10	10	10
3R	動物の選択	・使用した動物種は適正であり、かつ適正に用いたか。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 適					
	<input type="checkbox"/> 不適→					
動物数の削減	・使用動物数(実験使用数及び繁殖数)の削減に努めたか。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 適					
	<input type="checkbox"/> 不適→					
動物の苦痛軽減安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 適					
	<input type="checkbox"/> 不適→					
施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 適					
	<input type="checkbox"/> 不適→					

教育訓練	・動物実験責任者、実施者及び飼養者は動物訓練を受けたか。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→			
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。			
	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→			
終了報告の場合は、以下の欄も記入して下さい。				
実験終了の年月日	27年 3月 31日			
実験終了時の状況	期間: <input checked="" type="checkbox"/> 計画した実施期間満了 <input type="checkbox"/> 計画した実施期間の途中 (「計画した実施期間の途中」の理由)			
計画終了時の動物の有無	動物の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の理由) 使用したのは、以前より飼育していたビーグル犬で、今後も他の研究等にて使用するため(動物実験計画申請書作成予定)。		
実験成果:				
獣医学科4年生の外科実習、特に麻酔学に関する実習を実施し、教育効果を得た。				
学会発表:				
実験成果の概要	該当なし			
論文発表:				
著書:				
その他:				
その他 (実験実施において気付いた事項)				
※動物実験委員会の意見等	計画に基づき適正に実験が行われていると判断できます。			
※委員長欄	審査日	平成27年 5月 23日	審査番号	13-T-8
	本動物実験報告を審査しました。			
	委員長名 田中 久隆			

注) 必要に応じて記入欄を上下に拡大・縮小してください。別紙を添付も可能です。